

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和5年4月18日に全国の小学校6年生を対象に実施された「令和5年度全国学力・学習状況調査」について、文部科学省より調査結果が届きましたので報告します。

1 教科の調査の結果

【教科別学習状況調査平均正答率】

	国語	算数
梅林小学校	64%	59%
神奈川県	66%	63%
全国（公立）	67.2%	62.5%

○課題等に対する指導改善

- ・国語では、「話すこと・聞くこと」に関して正答率が低い状況にあります。目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力を高めることを目指します。話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめることが大切になります。学習指導では、インタビューをする際には、自分が知りたい内容に関する言葉を取り上げ、さらに質問しながら理解を深め、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめていけるようにしていきます。
- ・算数では、「変化と関係」に関して正答率が低い状況にあります。伴って変わる二つの数量について、変化の規則性を基に筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求める力を高めることを目指します。学習指導では、伴って変わる二つの数量について、比例の関係にあることを用いて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさを求めることができるようにしていきます。

2 児童質問用紙の結果

- ・国語・算数・英語の勉強についての興味関心が高い傾向にあります。子どもたち自身が単元計画を作成し、自分の考えをまとめたり、お互いの考えを発表し合ったりすることで、考えを共有する良さを感じられたりするような学習内容をこれからも継続して行っていきます。
- ・9割近くの児童が、学校に来るのを楽しみにし、8割近くの児童が、友達関係に満足しています。コミュニケーションを活発にし、子どもたちの良さをさらに見つけ、交友関係を広げていきます。
- ・9割近くの児童が、自分にはよいところがあると思うと答えていて、全国の平均を上回っています。引き続き、友達のよい所はもちろん、自分のよい所にも気付いていけるよう、学校全体で取り組んでいきます。